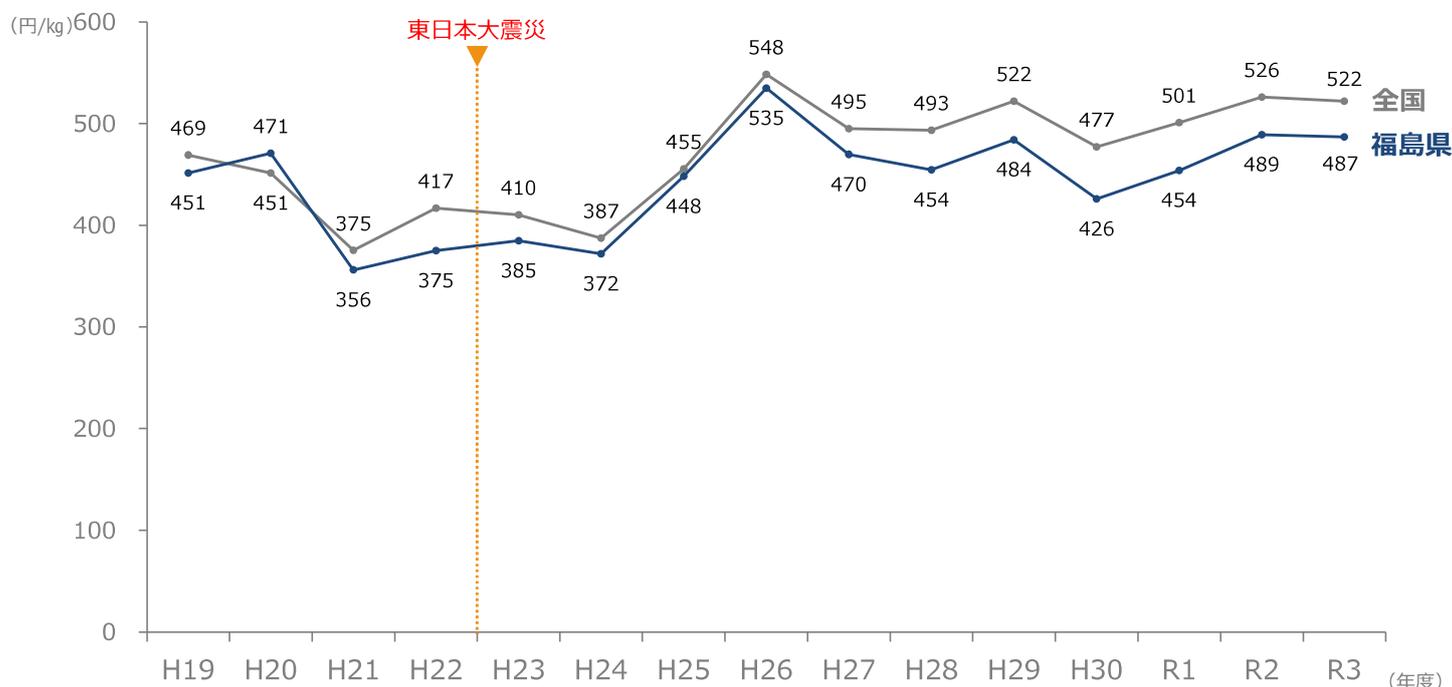


東京都中央卸売市場における福島県産豚肉に関する平均価格の推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の平均価格は、平成27年以降、全国平均価格と比べて30円～50円/kg程度低い水準で推移しており、価格差が固定化している。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の平均価格の推移



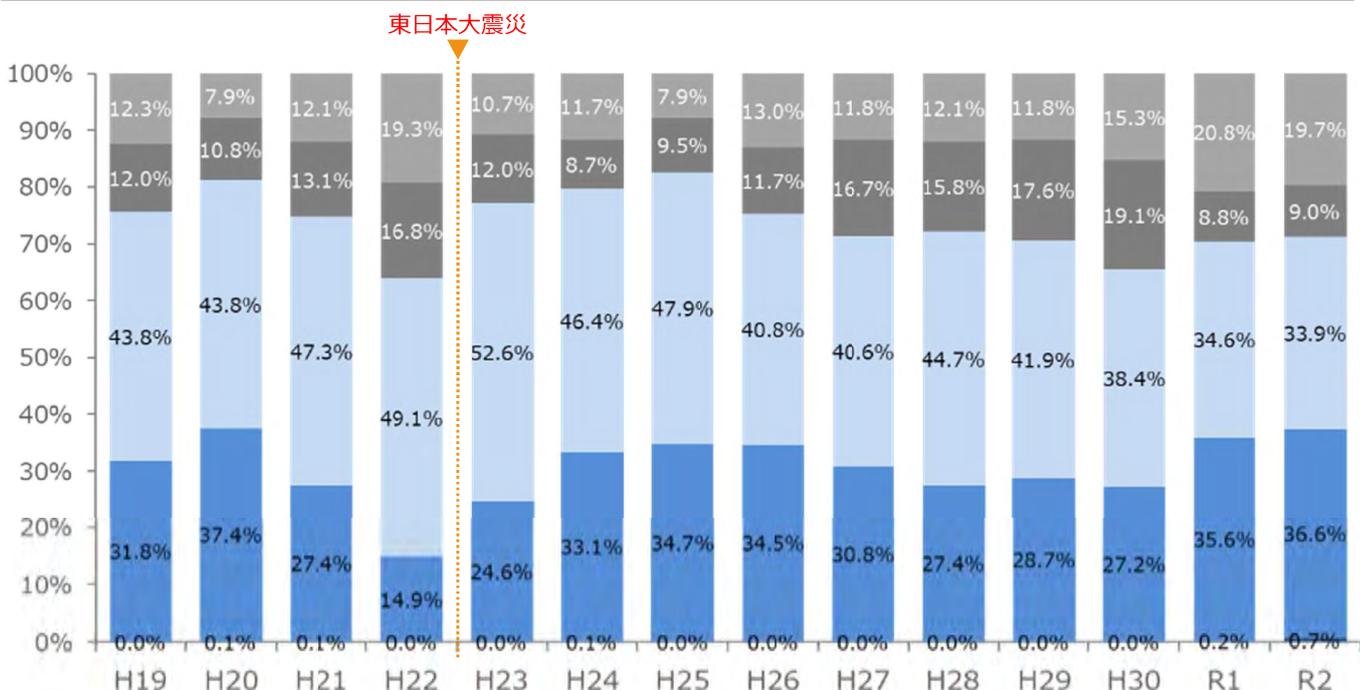
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※それぞれ年度単位の数値であり、令和3年度は令和3年12月までのデータを使用。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の等級別シェア

福島県産豚肉の等級別のシェアは出荷年によってばらつきが大きいですが、令和2年度は震災以降で特上の等級が最大となった。

福島県産豚肉の等級別シェア推移

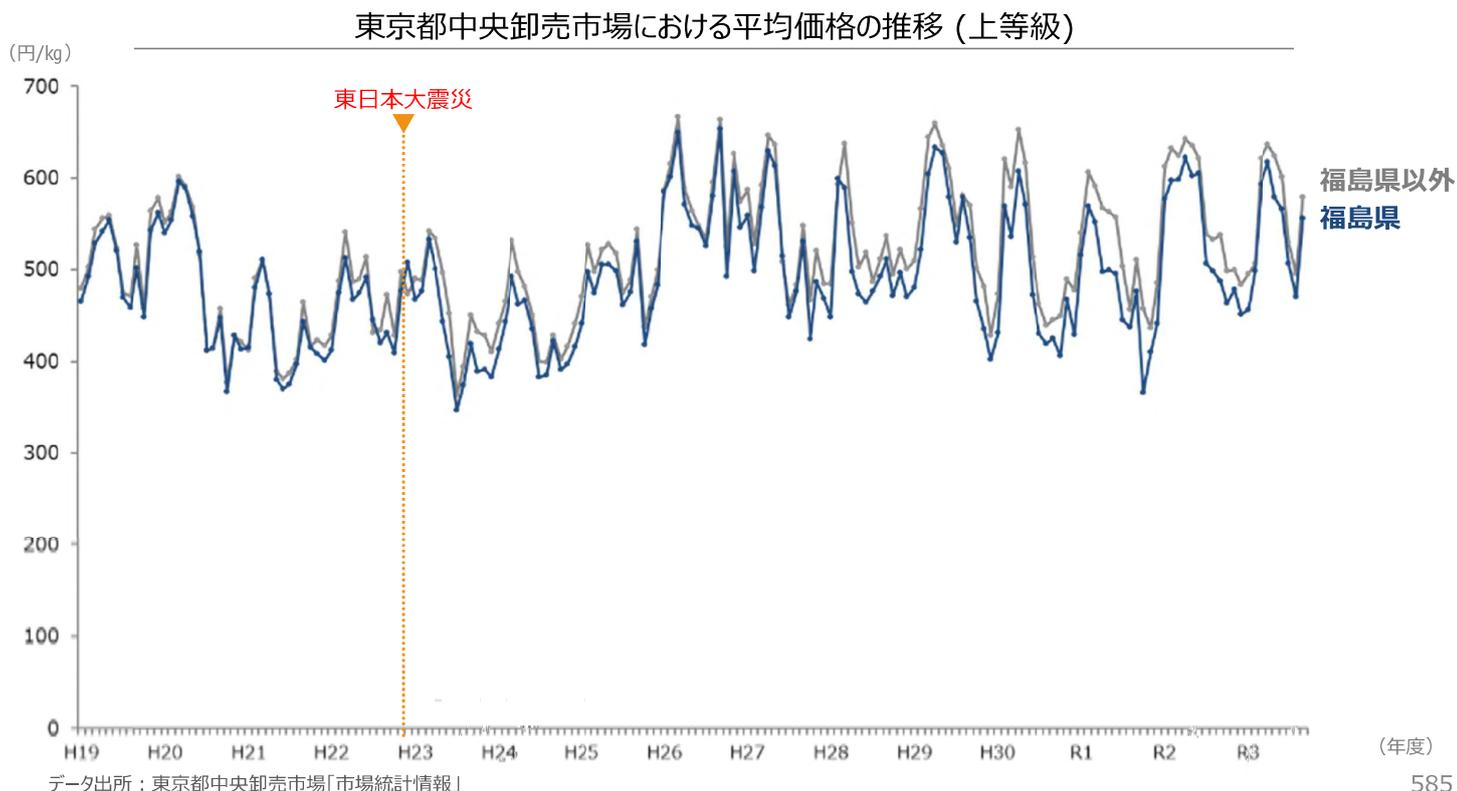


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

■ 特上 ■ 上 ■ 中 ■ 並 ■ 等外

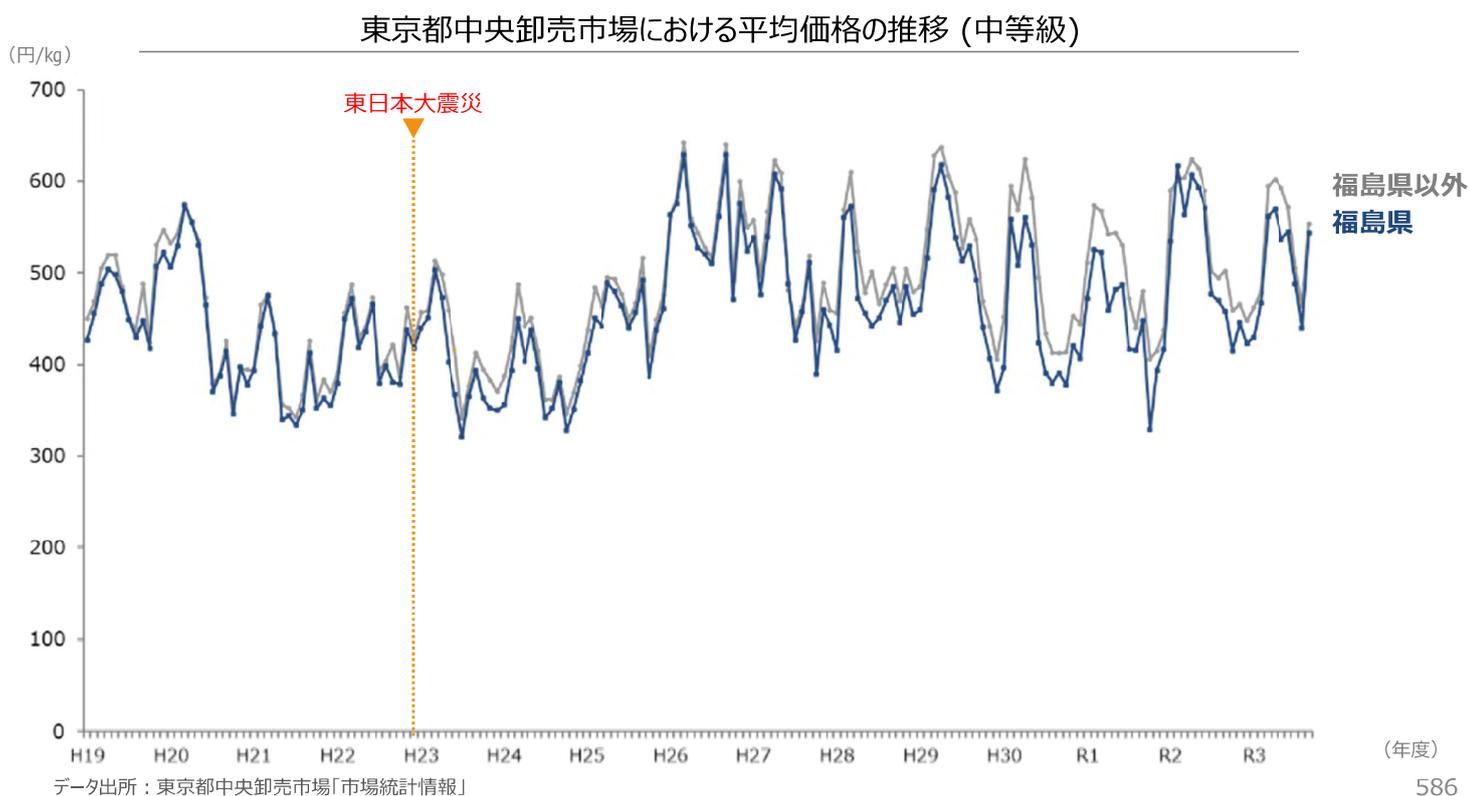
《参考》福島県産豚肉の月別平均価格の推移（東京都中央卸売市場・等級別（上等級））

上等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均価格は、ほぼ同水準で推移しているが、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。



《参考》福島県産豚肉の月別平均価格の推移（東京都中央卸売市場・等級別（中等級））

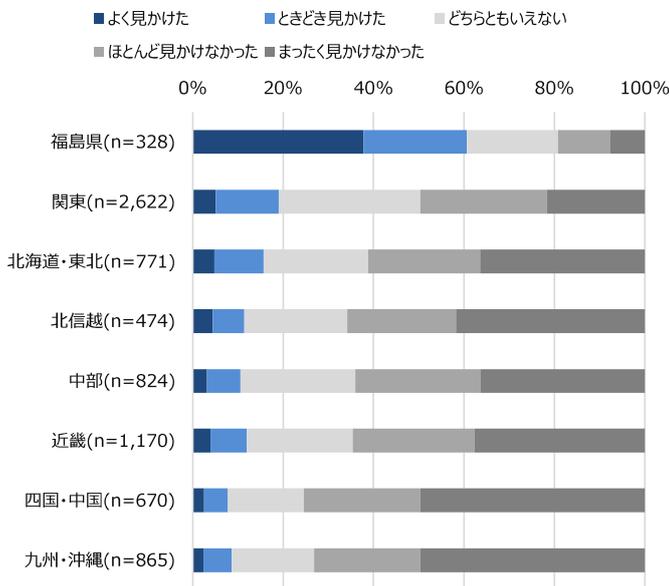
中等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均価格は、ほぼ同水準で推移しているが、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。



福島県産豚肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

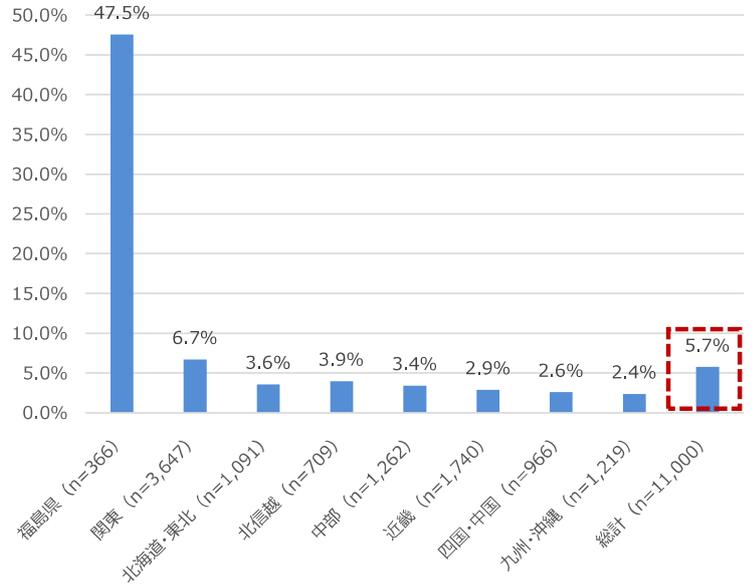
福島県産豚肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産豚肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.7%であった。

福島県産豚肉を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産豚肉の購買経験率



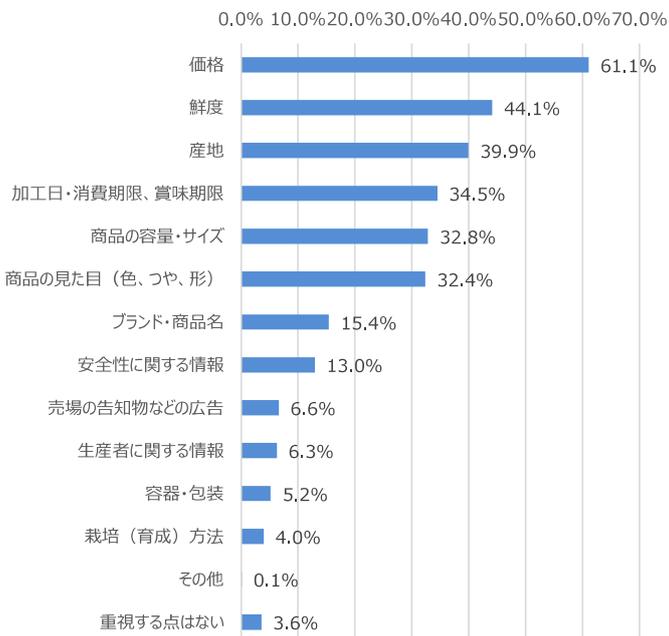
※購買経験率=1度でも購買したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていても購買経験なしとなる。

*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

豚肉購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

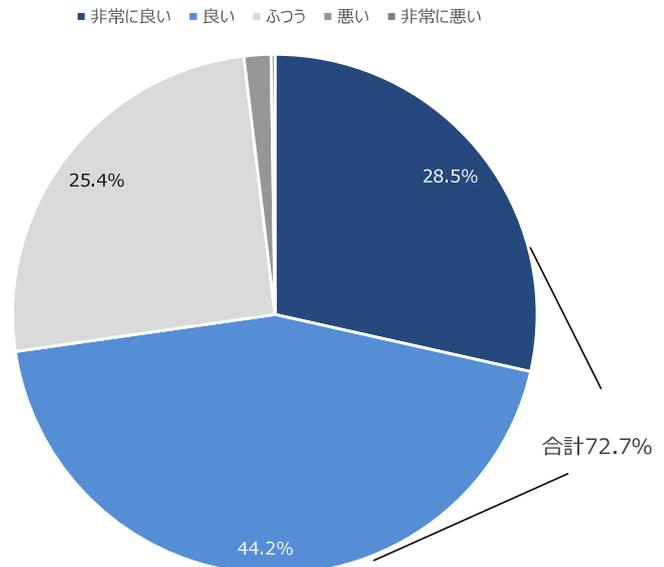
福島県産に限らず、豚肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産豚肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

豚肉購買時の重視点 (n=10,332、複数回答)



※豚肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上豚肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

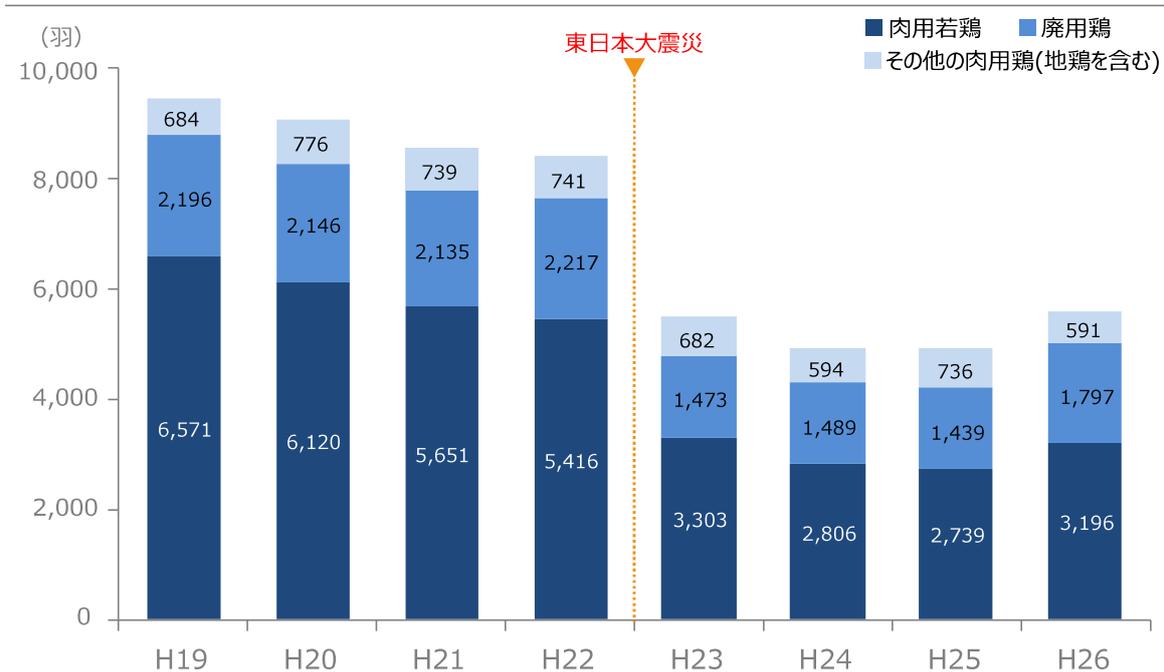
福島県産豚肉購買者の評価 (n=641)



※福島県産豚肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏の出荷羽数は、平成23年以降、肉用若鶏を中心に大幅に減少。ただし、最後に都道府県別統計が公表された平成26年は前年よりやや増加した。

福島県における鶏の出荷羽数



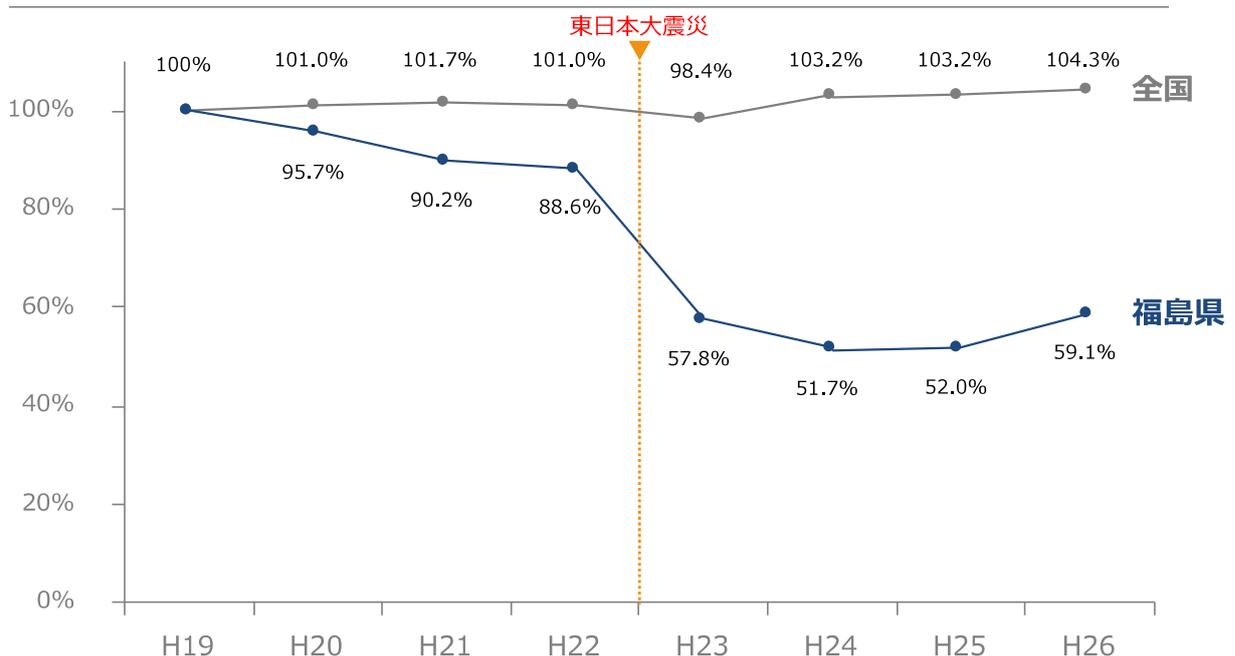
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
 ※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

肉用若鶏の出荷羽数の推移

肉用若鶏の出荷羽数は、全国では微増傾向である一方、福島県の出荷羽数は震災後大幅に減少した後、平成19年比50～60%程度で推移している。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数（平成19年を100%とした値）

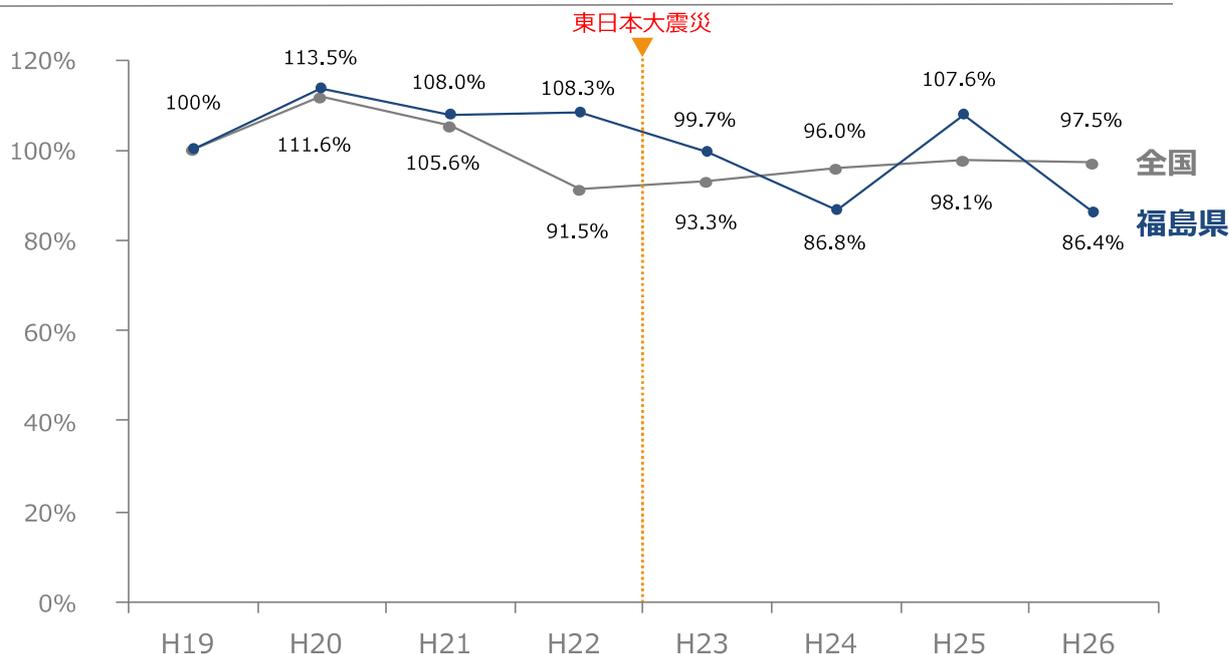


データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
 ※同調査における都道府県別の出荷は数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

福島県産の地鶏を含むその他の肉用鶏の出荷羽数は、震災後、2年連続で減少した後、平成25年に一時的に回復するものの、平成26年に再び減少している。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

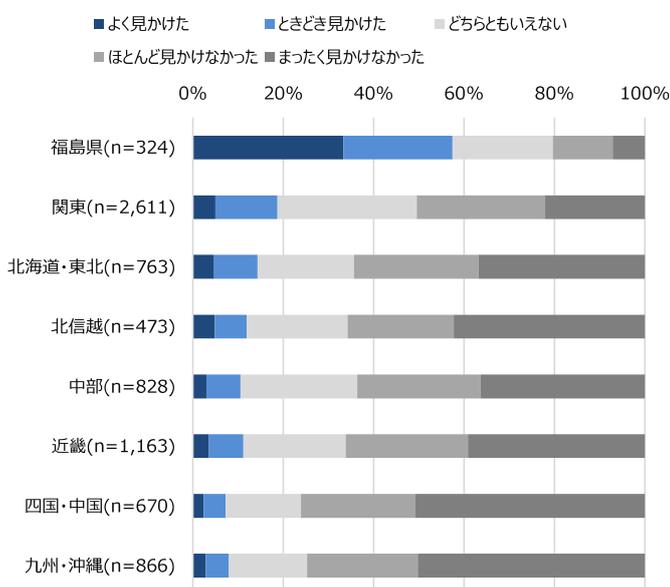
※同調査における都道府県別の出荷は数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

福島県産鶏肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

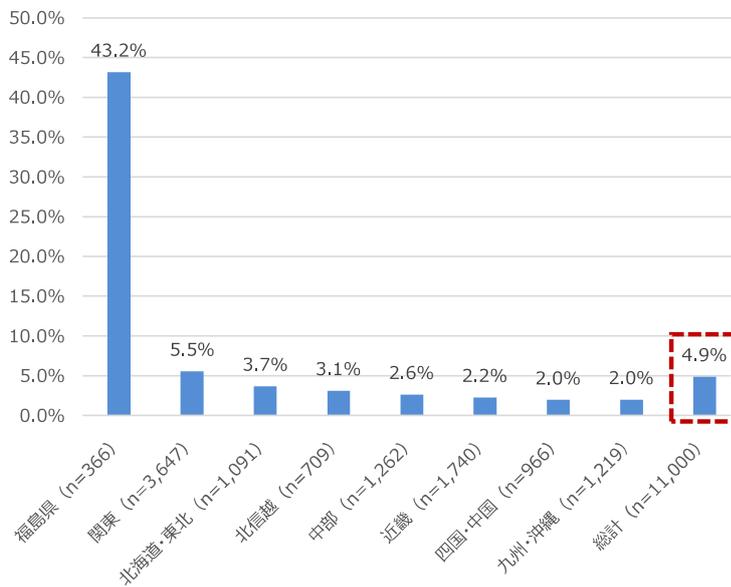
福島県産鶏肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、北海道・東北を除く他の地域では10%に満たない。福島県産鶏肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.9%であった。

福島県産鶏肉を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねた。
※nが「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産鶏肉の購買経験率

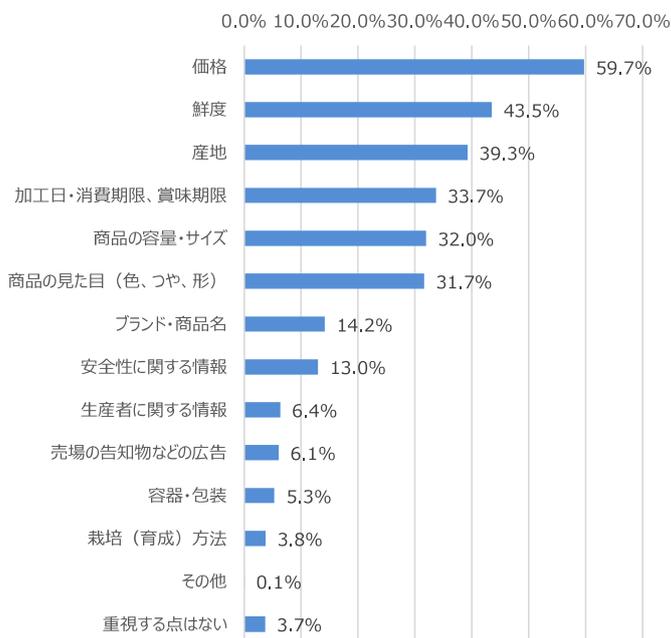


※購買経験率=1度でも購買したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買ってれば購買経験なしとなる。

鶏肉購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

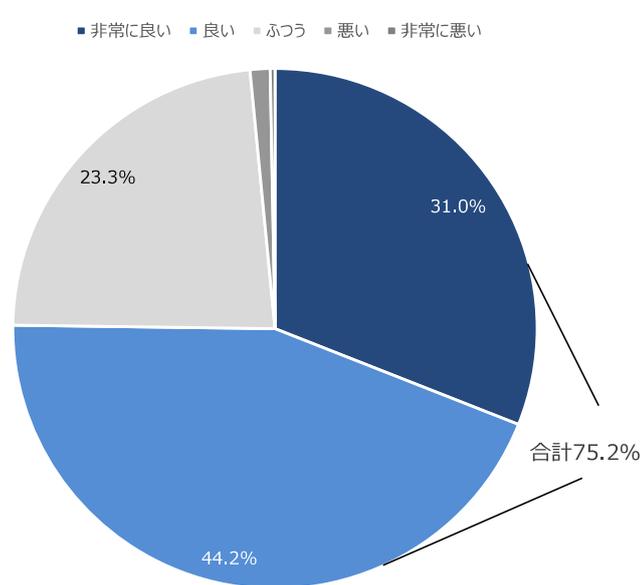
福島県産に限らず、鶏肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産鶏肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.2%であった。

鶏肉購買時の重視点（n=10,046、複数回答）



※鶏肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上鶏肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏肉購買者の評価（n=544）

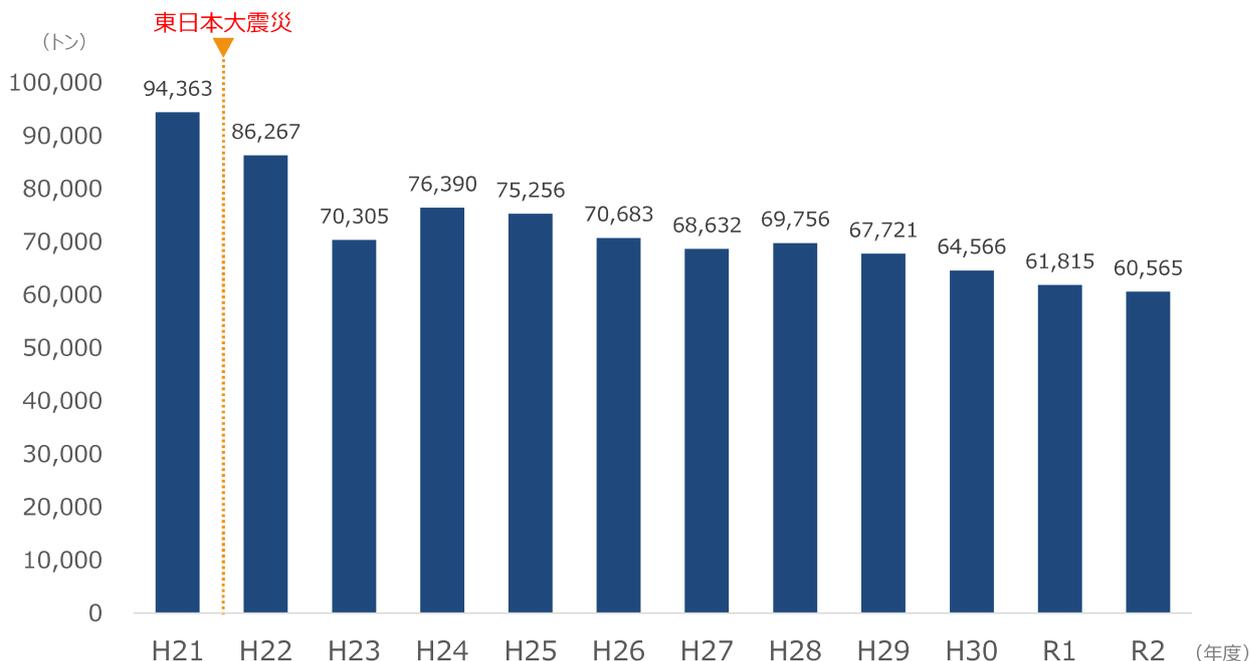


※福島県産鶏肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は平成23年度に大きく減少し、平成24年度に回復したものの、それ以降減少傾向で推移している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳受販売乳量の推移

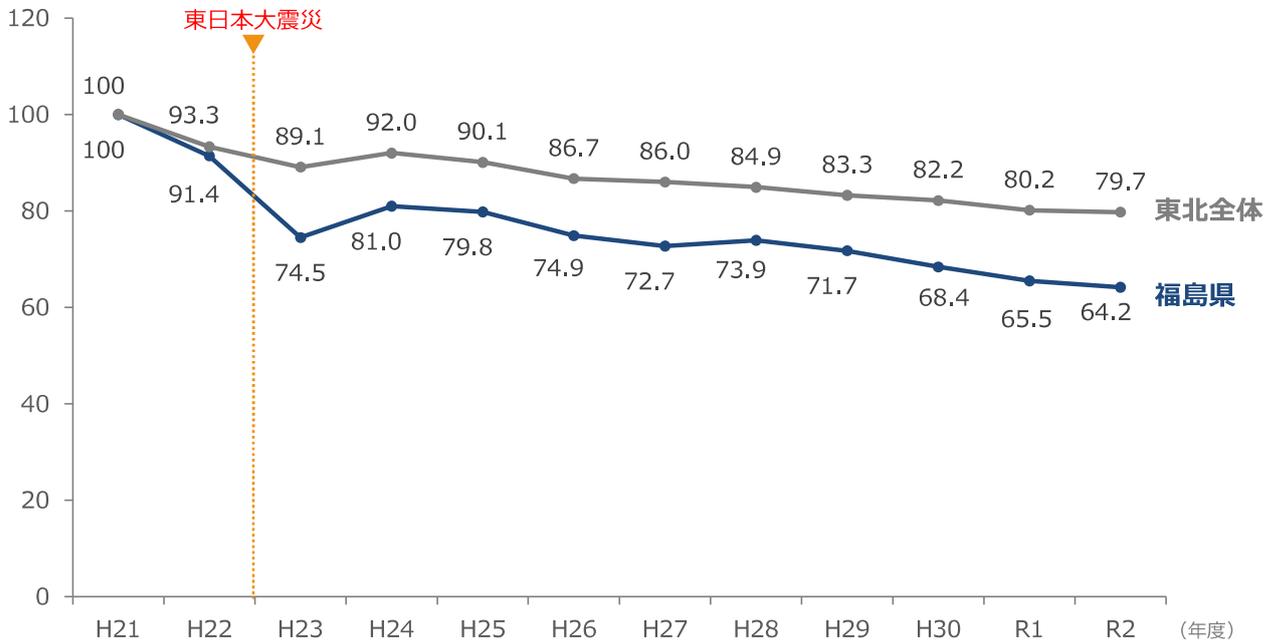


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

生乳受託販売乳量の推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は、震災前は東北全体と同程度の傾向で推移していたが、震災直後に大きく減少した。その後、平成24年度にやや回復したが、それ以降は減少傾向に推移している。

東北全体・福島県での指定生乳生産者団体における生乳受託販売乳量の推移
(平成21年度を100%とした値)



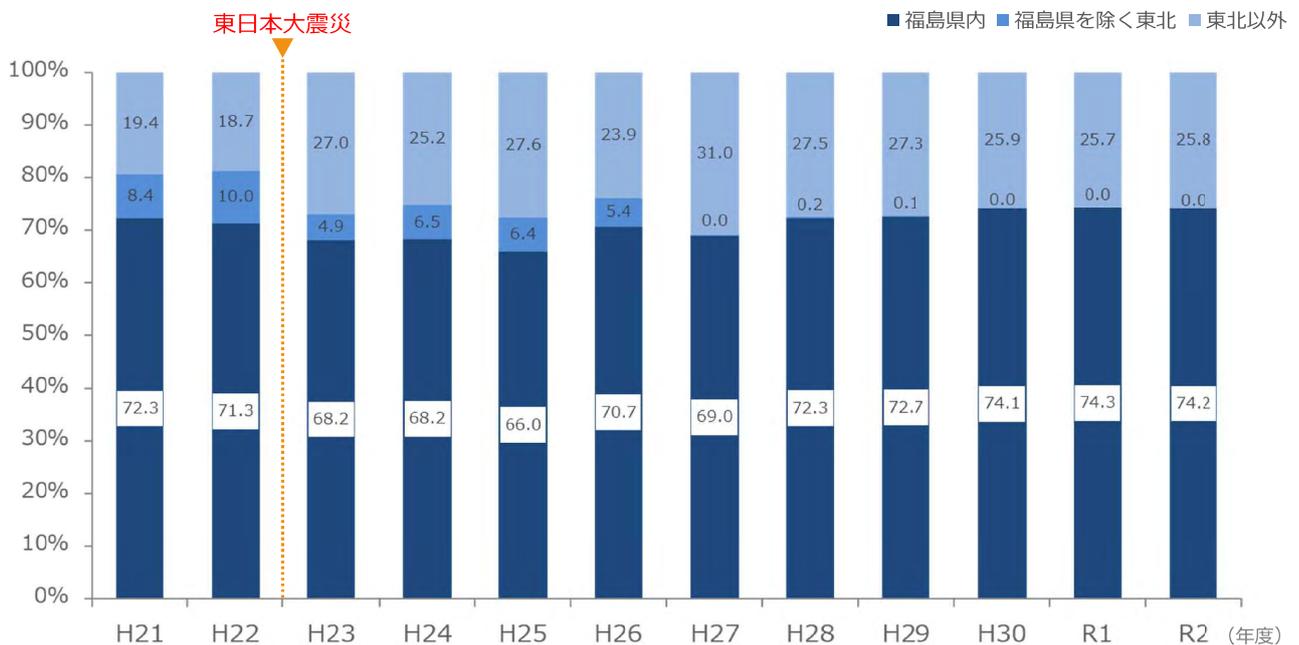
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

595

福島県産生乳の供給先別シェアの推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の供給先としては、県内向けが中心であり、平成27年度以降は福島県以外の東北地域への供給はほぼなくなっている。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳供給先別シェアの推移



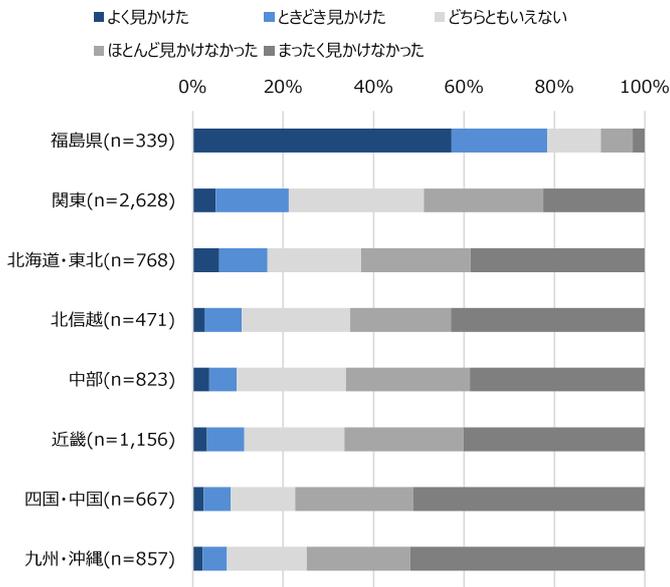
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

596

福島県産牛乳を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

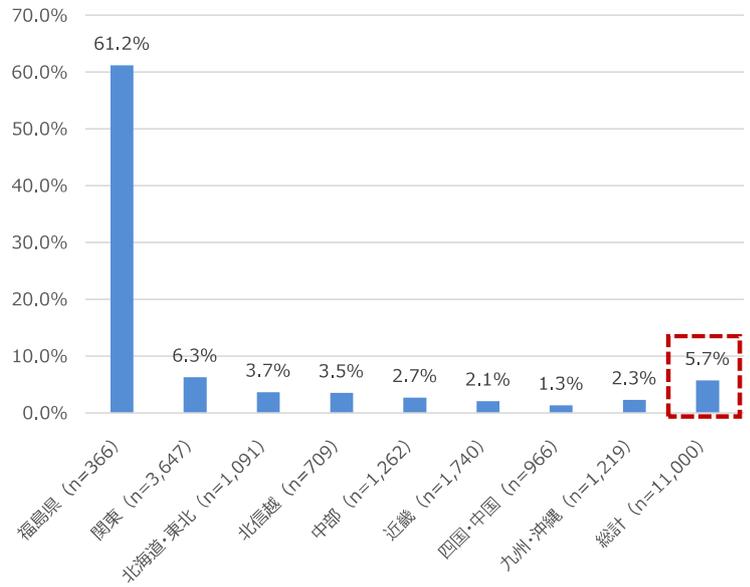
福島県産牛乳をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産牛乳を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.7%であった。

福島県産牛乳を店頭で見たら



※過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産牛乳の購買経験率



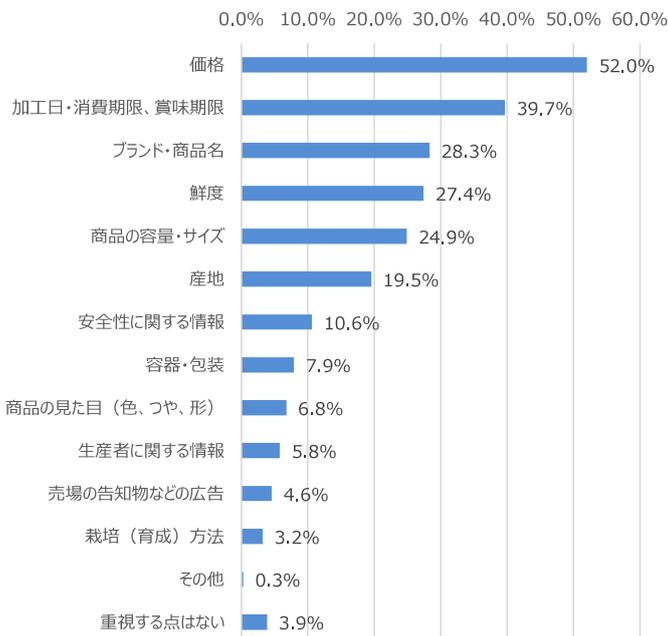
※購買経験率=1度でも購買したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購買経験なしとなる。

*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

牛乳購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

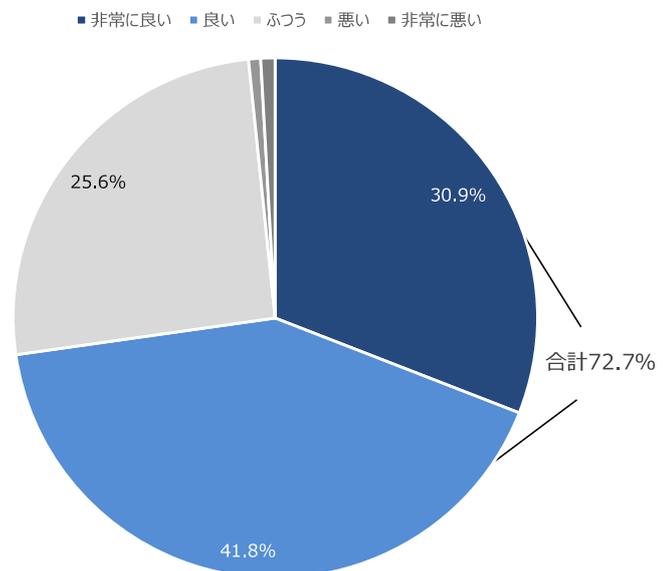
福島県産に限らず、牛乳購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「加工日・消費期限、賞味期限」が上位にあがり、次いで「ブランド・商品名」があがった。福島県産牛乳の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

牛乳購買時の重視点 (n=9,300、複数回答)



※牛乳購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上牛乳を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳購買者の評価 (n=629)



※福島県産牛乳を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。